平成23年度一般財団法人・日本ドッジボール協会　中央研修会 報告書

報告者：田村　嘉浩、加藤　重亮、遠藤　洋

日時：平成２３年１０月２９日（土）１３：００～平成２３年１０月３０日（日）１２：００
会場：平成２３年１０月２９日（土）　佐野市運動公園内　陸上競技場会議室　（佐野市赤見町2130-2）
　　平成２３年１０月３０日（日）　佐野市運動公園内　体育館　（佐野市赤見町2130-2）

講師：日本協会競技委員　　山形県協会　澁谷 繁和
　　愛知県協会　市川　篤
　　茨城県協会　斉藤　和則

一日目：座学
判員に求められるもの

ルールブックの誤記・誤植の確認及びルール確認　（別紙資料参照）

統一基本動作指導内容　(・実技統一事項・ゲーム等における統一事項について.)

事例解説,処理(対処)手順,ケーススタディ要領解説
6班に分かれてグループ討議

・グループ毎に「ケーススタディ」に関して議論し、結論と理由づけを集約する。
・グループ毎に集約結果を発表。

二日目：実技
統一基本動作解説と実技指導

・実技A (試合開始前の整列手順から、ジャンプボールまでの動作等)
試合前整列～ジャンプボールやり直し～ベンチバック動作

・実技B (線審のアドバンテージ及びフラッグの使い方等)
①オーバーライン確認～アドバンテージ動作～投球ボールがアウト・オブ・バーンズ
～アドバンテージ解除・アウト・オブ・バーンズ動作
②オーバーライン確認～アドバンテージ動作～オーバーライン確定～笛「ピーッ」～動作（コール）
③線審のオフィシャルタイムアウトの要求
④主審のオフィシャルタイムアウト

・実技C (ヘッドアタック発生時の対応及び線審招集方法等)
①ヘッドアタックの処理～説明・支配権の指示～タイムイン
②ヘッドアタックの処理～プレイヤーの交代～説明・支配権の指示～タイムイン
③プレイヤーの安全確認～プレイヤーの交代～協議の結果『アウト』～説明・支配権の指示～タイムイン

【3班に分かれてローティション】

【A実技】

1　試合開始前の整列から、ジャンプボールまでの動作(手順)

(1)整列時の確認手順

・主審　記録用紙のチーム名を各チームの「選手番号1」のプレイヤーに確認する

・線審 2･3　選手のテーピング、ヘアピン等の危険物、靴ひも等の確認

なお、テーピング等の確認は、手の裏表を交互に見せるようなことはせず、指を広げ静止した状態で確認する

・整列隊形の位置、コートへの挨拶 (P103) ①②参照

※選手の整列はエントリーした番号順で並ぶ。チーム名の確認はゼッケン1に（キャプテンではなくてよし。）

※ケガの選手は基本的に出れない。滑り止め効果の確認は線審。手は、クルクルさせない。

※センターラインをはさんで、審判員3人ずつが並ぶ。（主審が中心にならない。）

(2)主審,線審 1･4　3人の移動

主審は、線審 1・4に対し簡単に合図をし(方法は自由)揃って移動する

※合図、言い方は県での統一可。

※移動する速度を 『女性に合わせてほしい』 との意見あり

(3)主審　動作、吹笛、コール 「ピーッ、集合」

※手を伸ばしきると同時に「ピー」。コールし終わるまで手を下げない。この際、1歩前に出てもOK

(4)線審 2･3　なるべく揃って選手を率いて移動

※線審同士、線審と選手も揃うように。　お互いに、移動を始めるタイミングを意識する。

（相手選手の「いくぞー！　オー！」などの掛け声を待ってから移動する）

(5)主審　整列時の発言から、セットアップ動作まで

例「これから5分1セットマッチ,ランニングタイム制の試合を始めます。」

「キャプテン同士握手」　セットアップ動作 (P67)

※キャプテン同士が歩み寄って、握手をする。主審の目の前でなくてよい。

(6)線審の移動の仕方

コートに入らず、コートの外側を通って、位置に移動する。

※ショートカットしない。全力疾走で。

(7)主審、副審　選手人数の確認方法

プレイヤーの近くで、静止した状態で内野人数、外野人数(合計12名)を主・副ともに確認する

※（主審、副審）サンターサークルより離れて、選手に近い位置で立ったまま確認。しゃがまない。

（関東は、しゃがむ審判が多いが、他ブロックはいない。）

※歩きながら、確認しない。

※人数の確認等は、基本的に立ち位置の右側チームから行う。

(8)主審　ジャンプボールの動作、コール　副審　ボールの渡し方

※主審はセンターサークル中央で動作、コール。ボールは手渡し。(投げない。)

(9)試合開始前の確認
主審　線審 1～4、副審、オフィシャルへの動作と吹笛 (P129)
線審　主審の動作と吹笛に合わせた旗の挙げ方と降ろし方のタイミング
《主審の確認があるまで副審・線審(旗を下に向け)ともに、気をつけの姿勢》
副審は主審の笛の合図があってから手を挙げ(左右どちらでも良い)、次の笛の合図で降ろす。
線審は主審の笛の合図があってから旗を挙げ、次の笛の合図で降ろす。

※主審の吹笛で旗 (手)を挙げ、次の線審もしくは副審、オフィシャルへの吹笛で下ろす。
※副審も気をつけの姿勢で確認を受ける。計時員が左右によけて主審と目線を合わせる。
※線審は、旗を強く振り上げない。(ファール、アウト・オブ・バーンズの動作も静かに素早く)

(10)主審、選手番号の確認と副審とのアイコンタクト

(11)ジャンプボール
主審、トスアップと笛のタイミング
副審の姿勢と注視するポイント

※センターラインを踏んでいないことを確認。
※副審はタップを確認するので、中腰の姿勢。しゃがみこまない。(最後にどちらが触れたか確認する)
※勇気を持ってジャンプボールのやり直しをする。サドンデス時は特に有利不利が生じる。
※ジャンプボールのやり直しは主審のみの判断。他の審判員からは言うことができない。

※その他　：　複数セット間のベンチバックの動作、手を押し出さない。
1セットマッチの場合は、ベンチバックのコール・動作 (ジェスチャー) もしない。

◎実技指導でのアドバイス

ジャンパー以外の選手がセンターサークル内にいた場合は、(ルール上にはないが) 安全確保・
危険回避の為と、ジャンパーの邪魔にならない為に、離れてもらう。
キャプテン、選手同士の握手を促がす際に、主審が手を合わせるなどのジェスチャーは必要ない。

複数セット時のセット間の審判員は、コートの外で話し合いを行う　県限定で統一する？
(コートマスターは、インプレイゾーンに入らないこと)

【B実技】

1　線審　アドバンテージ動作
(1)線審ファール視認、アドバンテージ解除方法
線審　ファール視認
アドバンテージ動作　旗を肩の高さまで挙げ、選手を指す
ボールの行方を見て、アドバンテージ解除

※アドバンテージ（旗を肩の高さまであげ、選手を指す。）を解除してから次の動作に入ること。

(2)線審ファール視認･ファール確定
線審　ファール視認
線審　アドバンテージ動作　旗を肩の高さまで挙げ、選手を指す
ボ-ルの行方を見て、ファール確定　ジェスチャー･吹笛･コール
主審　ジェスチャー･吹笛･コール･支配権の指示
線審　支配権の指示動作が終わるまで、ファールジェスチャーをしておく

※ファールジェスチャー、アウト･オブ･バーンズジャスチャーは支配権の指示動作が終わるまで。

2　線審　オフィシャルタイムアウト時の動作
(1) ①オフィシャルタイムアウトを要求した線審
旗を振りながら、吹笛･コール･全力疾走で、センターサークルに行く
②その他の線審の動作
両腕を肩の高さまで挙げ、旗をひろげ、外野選手をその場に座らせる
選手をその場に座らせた後、全力疾走で、センターサークルに行く。

※オフィシャルタイムアウトのコールは、大きな声で「タイム」とコールする。

(2)主審又は主審に依頼された副審に招集された場合
1.両腕を肩の高さまで挙げ、旗をひろげ、外野選手をその場に座らせる。
2.両腕を肩の高さまで挙げ、旗をひろげた状態でセンターサークルを注視する。
3.主審からの招集確認後、全力疾走で、センターサークルに行く。
4.協議終了後は、走って定位置(P103④参照)に戻る。

◎実技指導でのアドバイス

フラッグの出し方は指で物を差す動作のように。（振りかぶると遅くなる。）
線審は選手に座るように声がけをする。
アドバンテージ動作は中腰、次の動き出しができる姿勢でフラッグを出し、目はボール、プレイを追う。
オフィシャルタイムアウトの説明は線審が定位置に戻ってから行う。
タイム要求の「ピー」長い方がよし。自分の肺活量に合った笛選びを。ドルフィンはかなり大容量。

【C実技】

1ヘッドアタック発生時の対応及び線審招集方法　タイムインP 101まで
　ヘッドアタックの対処は、P121･131参照
(1)ヘッドアタック発生時の主審の対応

※主審自身が座ってまず選手の確認。(この時点で鼻血など出血があれば、そのまま交代させる。)
※線審は選手を座らせる。
※主審が監督を呼ぶ際は(どの位置にいても分かるように)立って、「監督さん」。立つことは統一事項。
　副審に招集を依頼するときも手のひらを副審に向ける。(招集するかどうかを主審に聞きに行かない。)
※副審は、センターサークル内で待つ。

(2)オフィシャルタイムアウト時に主審及び副審が,線審を集める合図
手を挙げ,手のひらを線審に向ける。(右手･左手どちらでもよい)

※線審に手のひらを向けて召集。4人に向けてというより、両サイドへ合図。
※協議は全員が揃ってから行う。1回で済ませる(支配権の確認までして)

(3)緊急プレイヤーとの交代(P131～P132)

(4)主審,副審のタイムインの位置
ルールブックに記載されている試合開始の定位置(P103④参照)で行う。(サイドラインから離れすぎない)

※P103④の図を定位置とするが、線審は次のプレーに遅れるようであれば、この限りではない。
※定位置のラインから離れすぎないように注意。

※その他　：　オフィシャルタイムアウトの説明の内容、文言は来年の中央研修会で統一する方向。

◎実技指導でのアドバイス

ヘッドアタック時の安全確認後のオフィシャルタイムアウトの説明は、P122通りに「安全確認をしました。」はなし。
タイムイン時の主審、副審の位置。サイドラインからの距離を確認。
経験の浅い審判員にもできるようになるだけシンプルに。余計なことを言わない、加えない。
緊急プレイヤーとの交代があった際の説明はP132。交代を先に説明して、アウトが後。
(DVDは逆になっているので注意。)
コート内に監督を呼ぶのは安全確認だけなので、「安全確認をお願い･･･」は要らない。

《 ケーススタディ 》

事例 1:

「アウトプレイ状態(外野エリアで)」のプレイヤーに対し､外野プレイヤーがアタック、
「アタックが成功」したが､跳ね返ってきたボールがアタックしたプレイヤーに「直接当たった」場合、
外野プレイヤーは内野に復帰出来るのか?

◎外野プレイヤー＝内野に復帰出来る

〇解釈: アウトプレイ状態のプレイヤーにボールが当たって跳ね返った時点でアウト確定
(すでにアウトプレイのファールを犯しているのでアシストキャッチは、不成立)
アウトになったプレイヤーの(外野エリアで)オーバーラインのファールにより、
外野ボールから試合再開

◎手順
※内野プライヤーが相手エリアに入った時点で線審はアドバンテージの動作

①内野プレイヤーに当たって跳ね返った時点で 笛ピッ 「アウト」
②線審より ピーッ 「オーバーライン」
③主審 ピーッ 「オーバーライン」 相手外野ボール(外野エリアでオーバーラインなので)

◎参考 P－133 ケーススタディ:No1

事例 2:
Bチームのプレイヤ-にアタックされたAチ-ム内野プレイヤーがキャッチ出来ずにボールが空中にある
(アシストキャッチ出来る状況にある場合)間に、Bチーム外野プレイヤーが手でボールを弾き
(ボールタッチ)直接「アウト･オブ･バーンズ」となった場合、
Aチーム内野プレイヤーは「アウト」になるのか?またボールの支配権はどのようになるのか?

◎Aチ-ム内野プレイヤー＝アウト
◎ボールの支配権＝ワンタッチ成立によりBチーム外野プレイヤー

〇解釈: 外野プレイヤーは、ワンタッチが認められているため。

※アウト確定は、ワンタッチ後のアウト･オブ･バーンズ (ボールデッド) になったとき。
(ボールデッドになるまでしっかりボールを確認してからアウトコールする)

実技内容 （手順）

H23/11/24作成

【A実技】

1 試合開始前の整列から、ジャンプボールまでの動作 (手順)

試合開始前整列 ～ 線審 2･3 選手のテーピング等確認 ～ 主審,線審 1･4 3人の移動
～ 主審 動作、吹笛、コール「ピーッ、集合」～ 線審 2･3 なるべく揃って選手を率いて移動
～ 主審 整列時の発言から、セットアップ動作まで ～ 線審の移動･主審、副審 選手人数の確認
～ 主審 ジャンプボールの動作、コール 副審 ボールを渡す ～ 主審 ジャンパーの番号確認と
副審とのアイコンタクト ～ ジャンプボールの動作、コール ～ ジャンプボールのやり直し
～ タイムアップの動作、吹笛 ～ ベンチバックの動作、コール ～ 審判員移動 コートに一礼

【B実技】

1 線審 アドバンテージ動作

(1)線審ファール視認、アドバンテージ解除方法
(例) オーバーライン確認後、その投球が相手選手に触れず、アウト･オブ･バーンズになった
オーバーライン確認 ～ アドバンテージ動作 ～ 投球がアウト･オブ･バーンズ ～ アドバンテージ
解除 ～ ノータッチA動作 ～ 主審 支配権のコール ～ 線審 旗を降ろす ～ 主審 タイムイン

(2)線審ファール視認･ファール確定
(例) オーバーライン確認後、その投球が相手選手にノーバウンドで当たった (アウト)
オーバーライン確認 ～ アドバンテージ動作 ～ 投球が相手選手に当たった 主審 アウトコール
～ アドバンテージ解除 ～ オーバーライン動作 コール ～ 主審 オーバーライン動作 コール
～ 主審 支配権のコール ～ 線審 旗を降ろす ～ 主審 タイムイン

2 線審 オフィシャルタイムアウト時の動作

(1)線審のオフィシャルタイムアウトの要求とその他の審判員の行動
･線審のオフィシャルタイムアウトの要求 ～ 主審の説明まで

(2)主審がオフィシャルタイムアウトをとった後の行動
･主審のオフィシャルタイムアウト ～ 主審の説明まで

【C実技】

1 ヘッドアタック発生時の対応及び線審招集方法

(1)ヘッドアタック発生時の対応 (P121･131参照)
･ヘッドアタック発生 ～ 支配権の指示 タイムインまで

(2)緊急プレイヤーとの交代(負傷したプレイヤーはアウト) (P131～P132参照)
･プレイヤーの安全確認のため、主審 オフィシャルタイムアウト ～ 安全確認 ～ 選手交代
～ 説明 アウトコール ～ 支配権の指示 タイムインまで